

報道関係者各位

平成 20 年 9 月 22 日

株式会社コーチ・エイ

“組織・チームマネジメントセミナー”  
「ビジョンの浸透 ～共有・共感による強い組織づくり」  
～コーチ A 取締役社長 鈴木義幸による基調講演～

日本におけるコーチングのリーディングカンパニー、株式会社コーチ・エイ(東京都千代田区、03-3237-8815)の取締役社長 鈴木義幸は、9 月 18 日(木)に開催された “組織・チームマネジメントセミナー” (主催:株ビジネスフォーラム事務局)にて基調講演を行いました。

企業を取り巻く経営環境が急速に厳しさを増すなか、改めて強い組織づくりへの関心が高まっています。本セミナーでは「ビジョンの浸透 ～共有・共感による強い組織づくり～」をテーマに、変化の時代を勝ち抜くための組織マネジメントについて検証・発表されました。基調講演の中で鈴木は、「ビジョン浸透に向けたコミュニケーション戦略の3つのポイント」を紹介しました。

### <ビジョン浸透に向けたコミュニケーション戦略のポイント>

#### 1. ビジョンがなぜ大切か、その心理学的背景をトップとミドルマネジメントが理解していること

鈴木は冒頭、「高いモチベーションの維持には、直面している出来事に対して将来への意味づけができていることが人にも組織にも必要である」とお話ししました。また、ビジョンを描くことでその実現度が高まることを 1953 年にエール大学で実施されたリサーチを元に解説し、「ビジョンは描けるイメージがクリアであるほど効果的で、そのイメージを継続的に繰り返し描き続けることが重要である」(鈴木)と述べました。

#### 2. 企業トップの強力な発信力

鈴木は、「“ビジョンを語る”とは、単なる言葉の伝達ではなく、“エネルギーの伝達”である」とし、そのためには ①トップ自身の言葉で語られていること ②メッセージが効果的なノンバーバルに支えられていること ③繰り返しメッセージ発信をすること、の3点が重要である、と説きました。

中でも、ビジョン構築には時代の潮流や前任者の影響などによる外部基準を基にするよりも、「自分はこうしたい」というトップ自身から発せられる内部基準をベースに策定することでメッセージ性が強まる、と強調しました。

#### 3. 浸透に向けたミドルマネジメントの当事者意識の醸成

変革期にある組織では、現場で社員をまとめるミドルマネジメント層の意識づけが要となります。「組織のハブ」として主体性をもって行動するミドルマネジメントの育成には、「提示されたビジョンに対してミドルマネジメントが抱く不平や不満などを自由に表現できる“場”を設けることが必要不可欠である」とし、その過程からミドルマネジメントに主体性が芽生えてきた企業事例を紹介しました。

#### ■ 組織のビジョン浸透にむけたコーチングのアプローチ

ビジョン浸透にむけた「組織のコミュニケーション戦略」とは、ビジョンを自分のものとして捉え、自発的に遂行するトップとミドルマネジメントの育成に他なりません。エグゼクティブコーチングでは、「トップ自身が何をしたいのか」に焦点をあてたビジョン構築と発信力を高めるためのサポートをします。また、自律性のあるミドルマネジメント育成には、自由に思いを発言できる「場」を創出し、組織の「ハブ」となるメンバーの意識向上と行動変容をもたらすグループコーチングが有効である、とまとめました。

#### 【上記の件に関するお問合せは】

株式会社コーチ・エイ 広報担当 大谷恵、田上誠司

TEL:03-3237-8815 FAX:03-3237-8817 E-mail:info@coachA.com

## 会社概要

- 社名:** 株式会社コーチ・エイ
- 本社所在地:** 〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-1-30 イタリア文化会館ビル 10 階
- URL:** <http://www.coachA.com/>
- 設立:** 2001 年 10 月
- 代表者:** 代表取締役会長 伊藤 守  
取締役社長 鈴木 義幸
- 資本金:** 1 億円
- 事業内容:**
- ・ エグゼクティブコーチング
  - ・ インタラクティブ・コーチ・トレーニング(集合型研修)
  - ・ コーチングスキル定着サービス
  - ・ コーチング・アセスメント

### 鈴木義幸

#### 株式会社コーチ・エイ 取締役社長

慶應義塾大学文学部卒。(株)マッキンゼー・エリクソン博報堂にメディアプランナーとして勤務後、渡米。ミドルテネシー州立大学大学院臨床心理学専攻修士課程を修了。帰国後、コーチ・トゥエンティワンの設立に参画。延べ 200 社以上の企業において管理職を対象とするコーチング研修を行う。また 200 人を超える経営者、管理職のマンツーマンコーチングを実施。企業におけるコーチング・カルチャーの構築を手がける。著書に『コーチングが人を活かす』(ディスカヴァー)、『ほめる技術』(実業出版)、『プレゼンスマネジメント』(日経 BP)、『決断の法則』(講談社)、『セルフワーク・マネジメントのすすめ』(日本実業出版社)など。

